



TIAニュース

NO.3 1992

編集・発行 財団法人 高松市国際交流協会
〒760 高松市番町一丁目8番15号 高松市国際交流課内

高松市青年訪米親善使節団 帰国報告

ーセント・ピーターズバーグ市を訪問してー

親善使節団記録班

第1回青年訪米親善使節団として、去る2月21日から3月1日までの10日間、総員10名の団員がアメリカを訪問しました。団長は原田義信、団員は請川勘次、内海志穂子、上 ゆかり、唐渡 進、工代祐美子、河野直子、十鳥真理、福田有紀、そして協会の事務局からは加藤 浩三氏が参加しました。



一行はロサンゼルスに1泊のあと、姉妹都市であるセント・ピーターズバーグ市に入り、3泊4日の日程でセント・ピーターズバーグ市民との交流を行いました。その後、オーランドのディズニーワールド、アトランタ、ニューヨークを視察見学し、元気に高松に帰ってきました。

セント・ピーターズバーグ市では、市役所や老人ホームなどを表敬訪問するとともに、ボランティアによるホームステイを通じて、市民との心の交流を深めました。

ロサンゼルスからタンパ空港に着いたのは予定より40分遅れて午後3時50分でした。私たちを出迎えてくれたのは、セント・ピーターズバーグ市在住の日系アメリカ人であるキャシーさんとアキコさんでした。バスで約30分タンパ湾にかかるハーワード・フランクリン橋を渡り、ホストファミリーの待つセント・ピーターズバーグ市へと向かいました。行く前にはいろいろ心配していた対面式も和やかに終わり、それぞれのホストファミリーと車で家へ向かいました。そして週末をファミリーと楽しく過ごし、月曜日の朝再び団員たちが顔を合わせました。市役所に向かうバスの中では、「何をしたいどこへ行った！」と皆ホームステイ先での体験談で話がつきませんでした。

市役所では残念ながら市長は急用のためご不在でしたが、副市長のコニー・コーン女史と国際交流担当のバージニア・ローウェル女史にお目にかかり、脇市長からのメッセージと協会からの記念品の木目込人形をお渡ししました。市長室と

市議会議場を見学した後、多目的施設のサンコーストドーム球場、近代的な老人ホーム等を訪問しました。昼食は市のシンボリックな存在でもある逆三角形のブルーの建物のある栈橋、ザ・ピアでとり、午後からは有名なダリ美術館、美しいセント・ピーターズバーグ・ビーチを回りました。とても充実して、勉強になった訪問でした。

夜は、ホストファミリーを招待してチャイニーズフードを囲んでの交歓会。ここでは、キャシーさん、アキコさん以外にサコーさんご夫妻にもお手伝いいただきました。交歓会では、最初に日本の歌「花」を合唱し、出席者全員で乾杯しました。

自分たちのホストファミリーはもちろん、他のファミリーとも歓談、二人羽織やお箸を使つての豆はこび等のゲーム、全団員がそれぞれ英語で高松市の紹介をし、最後にホストファミリーも参加して、「一合ました」を踊りました。2時間半という時間がアツという間に過ぎ、楽しかったという反面、明日はお別れだという寂しい気持ちを心の中に抱きながら、各々のファミリーと家に帰りました。

今回の青年訪米親善使節団に参加して、普通の観光旅行では味わえない人と人との心の交流がもてたことは、私たちにとって本当に貴重な体験となりました。アメリカで出会った人たちは優しく、おおらかで、親日的でした。

ホストファミリーの皆さん、きっとまたいつかお会いしましょう！そして親身になってお世話くださった方々、本当にありがとうございました。

この体験を生かし、自分たちのできるところから、少しでも多くの人たちと心の通い合う国際交流の輪を広げていきたいと思っています。



TAKAMATSU

国際理解講座

～教えてください、あなたの国を～

昨年の夏にひきつづき、国際理解講座を高松市美術館で開催し、高松在住の外国の方々から母国の紹介等をしていただきました。2月25日(火)と、2月29日(土)の講座には、それぞれ約180人、約120人と大勢の人が参加しました。

流ちょうな日本語で話す講師、ボランティアに通訳をお願いし英語で説明する講師、そしてビデオ、地図等を使つての講演に、会場も熱気にあふれました。そして、講演後の質疑応答は笑いもある和やかな雰囲気、最後には、各国の子守歌をそれぞれの講師に歌っていただく楽しい場面もありました。

各講師のお話の概要は次のとおりです。

アメリカの話

講師 ジェームス・ヴォニッシュ

私は高松市の姉妹都市フロリダ州のセント・ピーターズバーグ市から来ました。私は大学で生物学を専攻しました。現在は高松一高で英語の先生をしています。

今夜はロッキー山脈の東の峰にある南モンタナの小さな谷間についてお話しします。この谷間は、有名なイエローストーン公園の近くにあり、ポールダー渓谷と呼ばれています。私はガイド、およびカウンセラーとして二夏を過ごし、その地域のことを知るようになりました。私が参加した夏のキャンプ場には、中学生や高校生がそのキャンプにやっけてきて、1週間から2週間私たちと一緒に楽しい時を過ごします。そしてその間、私たちはその子供たちに自然や、神様や、皆と協力することのすばらしさ等について教えます。

それから子供たちにゲームやフォークダンスを教えたり、1週間のハイキングロックに連れて行ったりします。その自然の中での毎日はとてもおもしろくてすばらしく、また私たちはいろいろな動物を観察することができます。たとえば、ムス、エルク、鹿や白い大きな山羊、鷲、黒熊などや、沢山の小さな動物を見ることができます。

その近くのクローマウンテンは高さが約3,200 mあり、いつも子供たちと一緒に登ることにしています。子供たちは登山することによって、大きな満足を感じます。

私たちが自主、自立の精神を思い起こすためにも、原生林を保存する必要があります。私たちは子供に荒野を大切にするように教えます。荒野には人が必要とする以上の価値があります。自然は私たちにとって天然資源や遊び場を提供するためだけにあると考えるのは思いがかりです。山脈での経験は荒野のことを学ぶのに最適です。

ドイツの話

講師 アネット・デーナー

私は去年の8月日本に来て、県の国際交流課で働いています。今日の話は国際理解ですから、もちろんドイツについてお話ししたいと思います。

1989年11月、東西両ドイツの人々が会ったのを見たとき、私は本当に涙が出るくらい感動しました。統一時の感動的な写真をその当時世界のどこでもご覧になったと思います。でも、もう1年半後の今ではどうでしょうか。その当時の辛

せとか、うれしい気持ちは現在ではあまり残っていないようです。その壁がなくなって結局1年かかり、1990年10月3日統一しましたが、わずか1年の間にはまだ東ドイツ政府は統一については考えていませんでした。西ドイツ政府も5年か、10年かかるのではないかと思っていたのですが、思ったよりとても早く統一しました。



東ドイツでは戦後40年間計画経済が続き、西ドイツでは自由主義経済でした。一つの制度を自由主義経済に変えるということは、実際にはうまくいかないようです。その結果東ドイツでは失業率が大変高いし、給料は西側よりもずっと低いようです。両者同じようにするという考えもありますが、大変な時間がかかります。経済の専門家でも何年間もかかると言っています。

次に日本とドイツとの共通点について少しお話しします。ドイツと日本は戦争と一緒に負けた国、また勤勉性であるといわれ、私たちが思っている共通点は次のような点です。

ドイツと日本は国際的な活動が下手で、なにかやろうとするとかえってちょっとトラブルを起こすという点がよく似ています。これは残念ながら両国には、自分本位な考えをする人が沢山いるからだだと思います。

日本もドイツと同じように国家意識、民族意識から抜け切れない問題と難民問題があり、それらを思うと暗い気分になるところがあります。

中国の話

講師 呉 祖興

私は3年前に日本にきました。そして東京の日本語学校で日本語を1年半勉強し、去年は岐阜大学で研究生として勉強しました。去年4月から高松の香川大学へはいり、今は教育学部で勉強しています。

今日は中国の教育制度というテーマでお話しします。中国の教育制度では小学校はすべて義務教育で、1951年ごろ実施されました。その後いろいろなことがありほとんど失敗しました。本当に実施されたのは1986年で、全国の国民は義務教育を受けなければならないと義務づけられました。しかし、実際的にはこの義務教育の推進は困難でした。中国は国土が広く、多民族で、各地方の言語や学校の教師の水準とか、困難な問題があつて推進は地方政府に委ねられています。

中国の現在の学校制度はほとんど日本と同じで6・3・3・4制です。でも、現在のこの制度も全国同一ではありません。地方の文化、経済、民族とかによって今もまちまちになっています。都市部はほとんど小学校は6年ですが、農村部は5年の所もあります。中国では半日制、または半校・半働制というのがあります。半校・半働制というのは半分は学生であり、半分は労働者です。そのような学校も中国にはあります。つまり、午前中は学校へ行き、午後は自分の仕事場で仕事をします。

中国の大学卒業生は自分で仕事を探すことはできません。ほとんど国が全国的に配置します。このような制度は今も続いています。このことから考えると中国の教育制度は中央集権という制度です。

今、中国の教育制度は新しい内容を取り入れてどんどん改革しております。

ザンビアの話

講師 ルツ・コンバルメ

私は去年の7月にザンビアから日本にきました。宣教師をしています。今日は皆さんにザンビアについてお話できるのでとてもうれしいです。

ザンビアはアフリカ南部にあり陸地ばかりに囲まれた国です。国土は日本の約2倍の大きさで、その中には約800万人以上の方が住んでいます。ザンビアのほとんどはまだ開発されておらず、人も多く住んでいません。ザンビアには83種類の異なる部族が住んでおり、言語はそれぞれ違っています。

国土は900~1,500m位の標高にあり、平坦な土地です。ザンビアには3つの季節があります。昼と夜との温度差が大きく、暑い季節の日中はとても暑く、夜になると非常に涼しいです。冬は5月から7月までで、霜が降るくらい寒いんです。12月から4月が雨季になります。9月から11月までは暑いんです。

ザンビアの主食はミルミルと言い、とうもろこしを粉にしたもので作ります。魚とか野菜を入れて食べるとおいしいです。しかしザンビアの魚は湖や川で捕えたものです。オレンジは1年中いつでも食べられます。マンゴ、パイナップル、バナナや西瓜は季節によって食べることができます。

ザンビアには面白くて、美しい観光地が沢山あります。ビクトリア滝は、ナイヤガラの滝より高さも、幅も大きくて、世界の7不思議の一つになっています。



ザンビアには狩ができる大きな国立公園が2つあります。飛行機か車で行くことができます。また、北部にあるチルビ島には根が上にあり、葉が下につくとても不思議な木があります。他にも沢山の面白い島があります。

ポーランドの話

講師 ボグダン・ブチュコフスキー

私は経済に興味があるので、日本に来て日本経済を勉強しています。日本に来る前には日本経済についてDr.論文を書きました。その論文を書いて日本に来ることができました。

私の国ポーランドはヨーロッパの中央部に位置しております。しかし政治的には東ヨーロッパ、いわゆるソビエト圏に属しています。ヨーロッパでは7番目に大きな国です。人口は3,000万人です。ポーランド全領土の3%が海拔約500m以上です。ポーランドの主な宗教はローマ・カトリック教ですので、パチカンの法皇はポーランドにいます。

ポーランドの東部の隣国はソ連です。南部はチェコスロバキアで、西はドイツです。ポーランドは過去1,000年の歴史の中で何度も攻撃を受けました。ポーランドにとって17、18世紀は歴史上最悪の時代で、ヨーロッパの地図の中から消滅されていました。そういう訳で約200年間はヨーロッパの地図の中には存在していなかったのです。このように私たちの国の歴史は強力な隣国によって運命が決定づけられてきました。

戦争の結果として、不幸なことで有名なあのアウシュビッツ捕虜収容所がポーランド領土の南部に設けられました。第2次世界大戦中には不幸にもそこでおよそ200万人~300万人とも言われる人が殺されました。大部分はユダヤ人とポーランド人で、後半になってロシア人が殺されました。

ポーランド中央政府が管理する体制の経済改革が、自由主義経済の方に移行しつつあり、ポーランドにおける経済状態は困難を極めました。現在、およそ200万人の人々が失業中です。つまり10%が失業状態です。

イスラエルの話

講師 エドナ・董原

皆さん、今日わ。沢山の方が見えて、ありがとうございます。

イスラエルは小さな国でスイスの約半分です。地中海が西の国境で、南端は紅海に接しています。イスラエルには地上で最も低い所があります。死海がそれで396mも海面よりも低く、イスラエルで最も長いヨルダン川が流れ込んでいます。エルサレムはイスラエルの首都です。

紀元73年に古代イスラエルの皆マサダがローマの手に落ちました。約1,000人のユダヤ人はローマに屈するよりはと死を選び、イスラエルの国は滅びました。6世紀前にバビロニア人に追い出されたように、再びユダヤ人は世界中に散らばりました。しかしこの長い放浪の旅でも、祖国へ戻る夢は消えませんでした。1947年、国連がイスラエルの国家の設立を可決しました。そしてイスラエルは1948年の5月14日に独立宣言をしました。

イスラエルは中東における唯一の民主国家です。人口の90%はテルアビブのような都市部に住んでいます。450万の国民のうち、約1/3はこの都会に住みついています。

イスラエルは圧倒的なユダヤ国家ですが、国民の17%は非ユダヤ人です。そのうち過半数はアラブ人です。イスラエルには約60万人のアラブ人がいます。

イスラエルはキリスト教の発祥地でもあり、エルサレムを取り囲む丘をはじめ、国中に各キリスト教派を代表する教会が建っています。市内には約2,000年前に、キリストがゴルゴダへと歩いた跡をなぞる巡礼が毎日のように見られます。

イスラエルには今、400~500万人が生活していますが、ユダヤ民族として国外に約2/3の人が住んでいます。

協会派遣 姉妹都市親善留学生（市民）

1. セント・ピーターズバーグ市（アメリカ）
派遣留学生 岡野愛子（25歳）
派遣期間 平成4.3.26~平成4.6.23 3か月間
2. トゥール市（フランス）
派遣留学生 別府葉子（26歳）
派遣期間 平成4.3.31~平成4.6.31 3か月間

TAKAMATSU INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS NO.3

Event

CULTURAL CIVIC CENTER

● PLANETARIUM

Enjoy the movement of the heavenly bodies of the four seasons at the planetarium.

▽ Time: From 13:30 and 15:15 about a 40-minute program on Saturdays, Sundays and national holidays

* The Star Festival' A special projection
(Jun. 13-Jul. 12) From 14:30 on Saturdays and Sundays

▽ Place: The planetarium room on the 5th floor of Cultural Civic Center

▽ Admission fee: Junior high students and under ¥ 50
Senior high students ¥100
Adults ¥200

● AN EVENING WITH MUSIC AND STARS

Enjoy beautiful music while looking up at the stars at the planetarium room.

▽ Time: From 16:10 to 17:00 on the 3rd and 4th Saturday of every month

▽ For: Junior high students and over

▽ Place and Admission: The same as the program listed above.

● A GATHERING FOR PARENT-CHILD WATCHING STARS

After enjoying the study of astronomy with the planetarium, each of you can watch the movement of the heavenly bodies through a telescope and look for a constellation together.

▽ Time: From 18:00 to 20:30 on Saturdays
Apr. 18, May 16, Jun. 13 and Jul. 25

▽ For: Primary school children, Junior high students and their guardians.

▽ Place and Admission: The same as the program listed above.

* For further information, contact Cultural Civic Center. (Matsushima-cho 1-chome, TEL 33-7722, Closed on Mondays.)



SPORTS

● SUNDAY HIKING

▽ Apr. 26 The Fudo Falls, The Enjuji Temple (Kagawa Prefecture)

▽ May 24 The marshland of Kurosawa (Tokushima Prefecture)

▽ Jun. 28 From the Ominakami Shrine to JR Motoyama Station (Kagawa Prefecture)

▽ Jul. 19 Mt. Akaboshi (Ehime Prefecture)

● MONDAY HIKING

▽ May 11 Ojigadake (Okayama Prefecture)

▽ Jun. 1 Mt. Otaki (Kagawa Prefecture)

▽ Jul. 6 Kinbuchi Park, Mt. Futago (Kagawa Prefecture)

● GOOD WALKERS' MEET

▽ Apr. 29 Kotohira

● HIKING COMBINED WITH CLEANING

▽ Jun. 7 Yashima

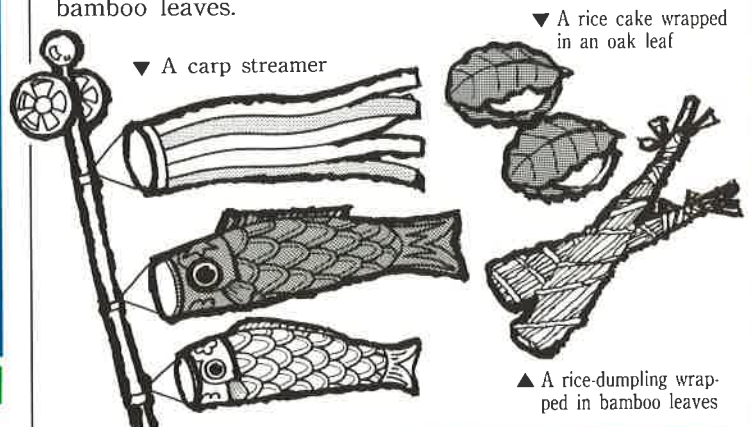
* An entry fee for each event is charged. For further information and application, contact Citizen Sport Section. (10th floor, City Office, TEL 39-2626)

ANNUAL EVENTS

● CHILDREN'S DAY

The fifth of May is Children's Day, a National Holiday on which wishes are expressed that the children will grow up in good health and find happiness.

According to time-honored customs, we celebrate this day called 'tango no sekku' or the Boys' Festival by floating cloth carp, decorating with a doll warrior and Japanese irises which avert evil and eating a rice cake wrapped in an oak leaf and a rice-dumpling wrapped in bamboo leaves.



▽ A carp streamer

▽ A rice cake wrapped in an oak leaf

▲ A rice-dumpling wrapped in bamboo leaves

TAKAMATSU CITY MUSEUM OF ART

● GEORGES ROUAULT'S WOODBLOCK PRINTS EXHIBITION (THE 120TH ANNIVERSARY OF HIS BIRTH)

Period: From Apr. 11 (Sat) to May 10 (Sun)
Admission: ¥700

● MODERN JAPANESE PAINTINGS EXHIBITION (OWNED BY NARUKAWA ART MUSEUM)

Period: From May 15 (Fri) to Jun. 7 (Sun)
* Opening Hours: 9:00-17:00 (9:00-19:00 on Fridays)
Closed on Mondays.

* For further information on exhibitions, contact Takamatsu City Museum of Art. (Konya-machi, TEL 23-1711)

CHILDREN'S CARNIVAL WITH FLOWERS AND GREEN

The event full of dreams and adventures will spread out before us.

Everybody from a little child to a junior high school student can join and enjoy it.

▽ Period: From May. 3 (Sun) to May 5 (Tues)

▽ Place: Takamatsu City Chuo Park (Ban-cho)

* For further information, contact Social Education Section. (10th floor, City Office, TEL39-2633)

DO YOU WANT TO STUDY JAPANESE?

Takamatsu International Association (T.I.A.) offers Japanese language courses to those who wish to learn basic Japanese conversation.

▽ Course information

- ☆ Courses (1) Basic Japanese (in English)
(2) Basic Japanese (in Chinese)
(3) Intermediate course

☆ Period 15 class session on Fridays, May 8 to Sep. 25 (Inclusive of summer vacation)

☆ Time 18:00-20:00

☆ Place Meeting room of Takamatsu Shiminkaikan (Civic center: next to City Office)

- ☆ Instructors (1) Go Abe
(2) 毛 勇
(3) Takashi Hasegawa

☆ Number to be admitted 15 persons per class

▽ Qualification Any foreigner or returnee who lives or works in or near Takamatsu City is eligible.

▽ Class fee ¥1,000 (The student who does not have a textbook will bear the cost of a textbook.)

▽ Application Apply at the T.I.A. office with the class fee.

SUBSIDY FOR FOREIGN STUDENTS STUDYING AT PRIVATE EXPENSES

T.I.A. provides foreign students studying at private expense in Takamatsu with subsidies to lessen their living and studying costs.

T.I.A. is now receiving applications for subsidy of the current year. Apply at your school.

▽ Applicant's qualifications

- Foreign students must be studying at private expense in a graduate school, college, junior college or technical college (4th grader and over) in Takamatsu.
- must be a resident of Takamatsu. (No age limit.)
- must have joined or plan to join the National Health Insurance Plan.
- must not be receiving other scholarships that amount to more than ¥4,6000 per month.
- must have a record of excellent academic achievement and must be in need of financial support.

▽ Subsidy: ¥15,000 per month

▽ Period: April to March of the next year

▽ Time limit for application: The end of May

▽ For further information, contact T.I.A. or the section in charge of foreign students at your school.

T.I.A. IS SCHEDULED TO ORGANIZE THE FOLLOWING PROGRAMS FOR ACTIVITIES AND SERVICES (April of 1992-March of 1993)

- To hold a family get-together to promote an international friendly relationship between foreign families and citizen's through outdoor activities. (in summer)
- To write a basic Japanese conversational book to assist foreign residents and foreigners coming to

Takamatsu in their everyday Japanese.

- To take foreign residents on educational visits to give opportunities of understanding things in Takamatsu. (half-yearly, in spring and summer)
- To collect opinions and proposals about town-building and daily life in Takamatsu from foreign residents. (from spring to summer)
- To hold a reception for foreign residents to exchange views on the state of things in their native countries as well as in Takamatsu. (half-yearly, in summer and winter)
- To issue T.I.A.NEWS, a bulletin about international exchange activities. (half-yearly, in summer and winter)

YOU CAN USE THE RENTAL SERVICE OF VIDEO TAPES CONTAINING USEFUL INFORMATION ON TAKAMATSU

T.I.A. has prepared video tapes introducing foreign resident and foreigners on a visit to Takamatsu to geographical features, history, industry, sightseeing spots, specialty products, city building, major facilities and citizens life style of Takamatsu.

You are welcome to have the loan of video tapes at the T.I.A. office.

- VHS COLOR about 22 minutes
- In three versions: English, French and Chinese
- The use of video tapes is free of charge.

◎ Please feel free to contact T.I.A. for information on international exchange activities.

Takamatsu International Association TEL 39-2197
Takamatsu City Office 7F, Ban-cho 1-chome,
Takamatsu, Kagawa 〒760

Invitation

JALT-Kagawa

JALT is a professional organization dedicated to the improvement of language learning and teaching in Japan.

Kagawa chapter holds a monthly meeting.

* Sun. April 26 1:30-4:30 p.m.

Topic: Settling Objectives in Developing Lesson Plans

Speaker: Gerald Couzens (from New Zealand; M. S.Ed., Oregon State Univ.; Associate Professor at Miyagi Gakuin College for Woman in Sendai)

* Sun. May 17 1:30-4:30 p.m.

Topic: Games for Children

Speaker: David Paul (from Hiroshima)

* Sun. June 7 1:30-4:30

Topic: Linguistics of Reading Comprehension

Speakers: Kathi & Kenji Kitao (from Doshisha Univ., Ph D)

* Place: Takamatsu Shimin Bunka Center

* Fee: Members: free, Non-members: ¥1,000

* Info.: Steve McCarty (0878)74-7980

Harumi Yamashita (0878)67-4362

国際化を考える会フレンズ 会員募集

国際化とはどういうことでしょうか。国際人とはどんな人でしょうか。“フレンズ”はこの事について英語で考え学ぶグループです。あなたも御一緒に勉強なさいませんか？

この講座では、外国の歴史、文化、習慣、考え方、国際情勢などを幅広く学んでいきます。教師は外国人講師です。

入会御希望の方は下記によりお申し込み下さい。

募集要項

- 場 所：高松市築地公民館
(☎ 22-5865)
日 時：第1・第3火曜日
13:30~15:30
連絡先：☎ 34-6801 丸浦

第3回 平成4年度高校生タスマニア 派遣研修生一般公募

- 1.募集期間 4月上旬~4月下旬
- 2.募集対象 県内の全高校生
- 3.派遣人員 6名(男女)
- 4.選考試験 第1次 作文審査
第2次 面接試験(英語会話能力試験あり)
- 5.派遣先 オーストラリア・タスマニアのカレッジ(日本の高校2・3年生相当の学校)
- 6.派遣時期 8月に約2週間派遣する。
- 7.応募用紙 4月上旬に県内全高校に配布する。

(摘要)

- (1)長期間外国に滞在した経験のある者を除く。
- (2)特に男子生徒の応募を歓迎する。
- (3)派遣先の現地では、1名ずつホームステイをしながら学校に通学する。
問合せ先 (財)かがわ海外交流財団
☎ 23-7565

オープンファミリーご案内

赤ちゃんが言葉を習得するように、自然に7か国語(仏、西、英、韓、独、日、中)を楽しみながら身につけるヒップの多言語活動を、実際に見学&体験してみませんか。

- ▽日時 4月21日(火) 18:30~20:30
24日(金) //
- 25日(土) 15:00~17:00

- 5月26日(火) 18:30~20:30
29日(金) //
- 30日(土) 15:00~17:00
- 6月23日(火) 18:30~20:30
26日(金) //
- 27日(土) 15:00~17:00
- ▽場所 火曜日 高松市民文化センター
金曜日 屋島西公民館
土曜日 栗林幼稚園
// 大の場健康体育センター
- ▽連絡先 ☎62-4814 野口
35-2079 木村

JALT香川支部 全国語学教育学会

JALT香川では、毎月語学教育界で活躍中の講師を招いて、指導法、授業に役立つテクニックなど最新情報を提供している。会員の半数が米、英国などの英語母国語者で、例会は英語で行われ、英語教師だけでなく、英語力向上や外国人との交流を目的に参加する日本人も多い。

- 4月~6月の例会のお知らせ
4月26日(日) 1:30~4:30 p.m.
▷講師 Gerald Couzens
(宮城学院女子大助教授)
- ▷演題 Setting Objectives in Developing Lesson Plans
(指導目標の設定に関して)
5月17日(日) 1:30~4:30 p.m.
▷講師 David Paul (広島より)
▷演題 Games for Children
(子供の英語クラスで使えるゲームについて)
6月7日(日) 1:30~4:30 p.m.
▷講師 Kathi & Kenji Kitao
(同志社大学)
- ▷演題 Linguistics of Reading Comprehension
・場所 高松市民文化センター
・会費 会員:無料、非会員:¥1,000
・問合せ ☎ 74-7980
Steve Mc Carty
☎ 67-4362 山下知美

丸亀お城祭アジアの料理店

- 日時 1992年5月16日(土)~17日(日)
11時~14時
場所 丸亀城内南側食べ物テント
値段 1品 350円位
お問合せ先 丸亀ユネスコ協会事務局
☎ 0877-22-2713 川松

青年海外協力隊募集説明会

国際協力事業団四国支部では、平成4年度春募集説明会を開催します。関心のある方はぜひご参加下さい。

- ▷日時 4月21日(火)・5月18日(月)
18:00~21:00
▷場所 讃岐会館 高松市中野町23-23
▷問合せ 国際協力事業団四国支部
☎ 33-0901

KICA(香川国際文化協会)

2月23日、イギリス人・スーザン・ストラニング、アメリカ人・トリシヤ・バトラーさんを招いて、アメリカと日本の関係について話し合いをした。参加者は12名。熱心に日米関係について、1853年アメリカ使節ペリーが浦賀に来航した時から現在の状態まで2時間にわたって話合った。

次の会は、

- 4月26日(日) 高松市民文化センター
5月24日(日) } 午後2:00~4:00
6月28日(日) } 青少年談話室にて
連絡先 ☎ 86-1667

穴吹荘三

高松南ロータリークラブの紹介

ロータリークラブが行っている奉仕活動の中には、国際奉仕という部門があります。この目的は世界中のロータリアンがその活動を通して他国の人々や文化、習慣、業績、抱負、問題などを知り、国際理解及び親善、平和を推進することです。

当クラブはこの分野で特に青少年交換留学プログラムに力を入れています。

1つはアメリカのニュージャージー州との間で行っているもので、毎年20名以上の高校生、大学生を約1か月間お互いにホームステイさせて友情を深めています。

もう1つはオーストラリアのメルボルン地区との間で行っている交換留学で、高校1年生の女子を1年間ホームステイさせてお互いの国のありのままの生活を体験させようというものです。

若い人たちの心の触れ合いや、正しい国際理解のためにこれからも頑張りたいと思います。

協会の平成4年度事業計画の概要

○海外の諸都市との国際交流事業

姉妹・友好都市をはじめ、海外諸都市との間で、親善使節や研修生等の交流を行うなど、相互理解と友好親善を深めます。

○市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティアの登録と活用を図るとともに、ボランティア活動のための外国語基本会話集の作成やボランティア研修会を実施します。

また、国際交流事業に対する後援および事業費の助成を行うほか、国際交流団体やボランティア等の交流会を開催（冬）します。

○講演、講座、派遣研修等の実施

国際交流のあり方を探る機会として、国際交流講演会（秋）や、市内の在住外国人を囲んで、母国の事情や日本（高松）に対する意見などを聞き、意見交換を行う国際談話サロン（夏および冬の2回）を開催するほか、在住外国人や市民の親子などが、野外活動等を通じて交流を図る国際交流ファミリーのつどい（夏）を実施します。



また、基礎的な日本語の日常会話を学ぶための日本語講座を開設します。（半年単位2期）

一方、次代を担う中学生が豊かな国際感覚を身に付けられるよう、中学生海外親善使節団を中国の友好都市南昌市などに派遣（来年の春休み）するとともに、姉妹都市のセント・ピーターズバーグ市およびトゥール市においてホームステイや市民との交流などを行う姉妹都市親善研修生を派遣（来年春）します。



○留学生、研修生等在住外国人の支援

私費留学生に対し留学助成金を支給するとともに、在住や来高する外国人の日常会話の手助けとなるよう、日本語基本会話集を作成します。

また、在住する外国人が高松に対する理解を深める機会として、高松タウンウォッチング（春、秋2回）を実施するほか、まちづくりや日常生活などに関して在住する外国人からの意見、提言の募集（春～夏）を行います。

○情報の収集及び提供

国際交流や姉妹・友好都市に関する図書、ビデオなどの各種資料の収集や関係事業の調査を行うとともに、協会ニュースを発行（夏、冬2回）するなど、情報提供に努めます。

日本語講座受講生募集！

基礎的な日本語の日常会話を学びたい人を対象とした日本語講座の初級2クラスと中級1クラスの受講生を募集します。
▽講座内容

| | |
|-----|--------------------------------|
| クラス | ①初級（英語対応） ②初級（中国語対応） ③中級 |
| 期間 | 5月8日～9月25日 15回 （途中、夏休み有） |
| 時間 | 毎週金曜日18：00～20：00 |
| 会場 | 高松市立市民会館会議室 |
| 講師 | ①安部 剛 ②毛 勇 ③長谷川 隆 |
| 定員 | 各15名 |

▽受講対象者

高松市内および近郊に居住もしくは勤務する外国の方や帰国子女の方

▽受講料

1,000円（教科書を持っていない人は教科書代も自己負担）

▽申込方法

受講料を持って当協会へ。

後援および事業費助成

協会では、国際交流団体等が自主的に企画、実施する国際交流関係事業に対し、後援や事業費の助成を行っています。協会の所定の様式で申請してください。

事業の助成は、同年度に同一団体が1回、事業費の3分の1以内（限度額20万円）となっており、助成対象経費の制約などがありますので、希望される団体等は、協会へご相談ください。

ホームステイ・ホームビジット、通訳・ガイド利用申込みを受け付けています

外国の方が、高松市民等との交流を通じて友好親善を図るため、ホームステイやホームビジットを希望するときや、国際交流を目的とした事業で通訳・ガイドが必要な場合、協会に登録されている国際交流ボランティアがお手伝いします。

登録ボランティアを利用されたい方は、当協会へご連絡ください。（利用できる場合の制約等がありますので、あらかじめご相談ください。）

また、国際交流に関心を持ち、ボランティア活動のできる方の登録をお待ちしております。（ホームステイ、ホームビジット受入家庭、語学ボランティア、一般ボランティア）

私費外国人留学生

留学助成金の受給学生募集

市内の私費外国人留学生を対象として留学生生活を援助するための留学助成金制度を設けています。現在、今年度の助成金の受給学生を募集していますので、希望する方は在籍する学校に申し込んでください。

▽資格・条件

- ・市内の大学院、大学、短期大学、高等専門学校（4年生以上）に在籍する私費外国人留学生
- ・市内に居住する者。年齢不問。

- ・国民健康保険に加入している者または加入しようとする者
- ・月額46,000円を超える他の奨学金を受給していない者。
- ・学業成績が優秀で、留学生生活上、経済的援助を必要とする者。

▽助成額 月額15,000円

▽助成期間 4月～来年3月

▽応募期限 5月末

▽問い合わせ

在籍する学校の留学生担当課または協会へ。

国際親善ひなまつり会盛大に開催される

ひまわり文化交流会(久保キヨミ会長)が、在住の留学生や研修生とともに国境を越え世界は一つの理念で語り合い、日本古来の桃の節句をお祝いしようと3月1日に「国際親善ひなまつり会」を開催しました。

高松南部農協会館に、オイスカや香川大学などの留学生・研修生約40人を含む約600人が参加し、午前は、香川短期大学講師宮城正枝さんの講演とシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、留学生・研修生4人からの在日経験の報告、日本人への意見、提言や地区の方の海外生活の体験談の報告などが行われました。

午後は、ゲームや舞踊やカラオケなどの演芸に花が咲き、女性の研修生には晴れ着がプレゼントされ、地元の子供達と“楽しいひなまつり”を踊ったりして、みんなで地球社会の楽しい一日を過ごしました。(協会後援)



ひまわり文化交流会

生活ガイドブックとガイドマップ

高松に住む外国の方の日常生活の手引きとして、各種の便利な情報を日本語と英語の併記で記載した「生活ガイド高松」と、主な公共施設や交通路線などを英語併記した「ガイドマップ高松」を発行しています。

外国人で入用の方に協会でお渡ししています。(無料)

中学生訪中親善使節団が南昌市等を訪問

市内の中学生を団員とした使節団が、友好都市南昌市をはじめ、中国各都市を訪問しました。

派遣された「子ども大使」は、訪問地において同世代の生徒との親善交流や家庭訪問、施設見学などを行い、自分たちとは違ったものの見方や考え方を直接体験し、異文化への理解を深めるとともに、日本と中国の友好親善を深めました。(協会事業)

▽訪問期日 3月27日～4月3日

▽団長 乙武洋一(市学校教育課)

引率教員 中島宏晃(下笠居中学校)

立道干津(城内中学校)

団員 中学生 20人

(市内中学校から各1人)

▽訪問概要

北京 中国日本友好協会を訪問

万里の長城などを見学

南昌 南昌市人民政府を訪問

南昌第一職業学校との交流

南昌第二中学校との交流

生徒の家庭を訪問

滕王閣、博物館などを見学

上海 市内の中学校、少年宮を訪問

上海動物園など見学

高松紹介ビデオの貸出しをします

在住する外国の方や高松を訪問する外国の方に、高松の地勢、歴史、産業・観光、特産物、都市づくり、主要施設、市民生活などを紹介するビデオを作成しました。

協会でお貸し出しをしていますので、気軽にご利用ください。

- ・VHSカラー 約22分
- ・英語版、フランス語版、中国語版の3種類
- ・貸出し無料

南昌市金融代表団が来高

友好都市南昌市から、銀行関係者ら7人(団長 姜喬生・南昌市建設銀行行長)が日本の金融市場の動きの仕組みや信用手段、株式の形式や方法、保険システムなどを視察するため、2月12日から15日の間、高松を訪れました。

代表団は、香川県銀行協会を訪問し、手形交換の現場を見たり、百十四銀行、野村証券、朝日生命保険、日本火災海上保険の各会社を回り、異なる体制下にある日本の金融システム等について、熱心に話を聞き、質問をしていました。

また、市や金融の関係者との交流、懇談なども行われ、両市の友好交流の輪を広げました。



南昌市金融代表団

国際交流基金への寄附に対するお礼

協会の事業は、協会内に設置している高松市国際交流基金の運用から生じる収益金でもって実施しています。

この趣旨に賛同され、基金へ寄附をいただいた方々に、心からお礼を申し上げます。

㈱セシール 松下寿電子工業㈱

◎寄附のお願い

協会では、市民レベルでの国際交流の振興のため、国際交流基金への寄附をお待ちしております。

編集後記

TIAニュースNo.3をお送りします。新緑が若葉に映える頃となりました。高松市の中央通り歩道のつつじの花も色とりどりに美しく咲いています。

5月2日～3日は石清尾八幡神社市立祭です。玉藻公園の植木市もお楽しみください。

みなさんからの国際交流に関する情報をお待ちしています。(事務局)



1992年4月 (vol. 3)



Takamatsu International Association
財団法人 高松市国際交流協会

〒760 香川県高松市番町一丁目8番15号

高松市役所7階

TEL(0878)39-2197

FAX(0878)39-2015

Takamatsu City Office 7F 8-15 Ban-cho 1chome
Takamatsu Kagawa